

美祢市立秋芳桂花小学校で森林体験学習を実施

令和5年10月30日（月曜日）、美祢市秋芳町別府の山林において、秋芳林業研究協議会（会長：坪井和登）が美祢市立秋芳桂花小学校の5年生8名を対象に森林体験学習を実施しました。

これは、次代を担う児童たちに、森林の役割や森づくりの大切さ、地域林業への理解を深めてもらうために行われたものです。

児童たちは、紙芝居で森林の役割や林業の重要性について説明を受けた後、クイズ形式で森林や林業について学びました。森林がないとどうなるか問いかけられると、児童たちは手を挙げて、川の水が濁ることなどを答えていました。

その後、協議会会員によるチェーンソーでの伐採を見学して、伐採された木をノコギリで切る体験をしました。

児童たちは、森林の中で落ち葉の積もったふかふかの土壌を確認したり、伐採の迫力やノコギリの難しさを体感したりして、森林での体験をとても楽しんだ様子でした。

なお、次回は、2月にシイタケの駒打ち体験学習が実施される予定です。



森の学習



丸太切り体験